

キリスト教文化研究所

研 究 年 報

民 族 と 宗 教

第 53 号

2019

宮城学院女子大学

目次

論文

江戸に向かう奥羽飢人―天保七・八年を中心に……………菊池勇夫 一

宮城学院中学校におけるNIE活動を取り入れた平和教育

―『長崎新聞』作成にいたる一連の取り組み……………丸山仁 三

）
）
）
）

シンポジウム1

公開シンポジウム「東北における女子ミッション教育の社会史」開催報告 はしがき

……………天童睦子 1

「女性と教育」の近代―女子大学の史的変遷をふまえて……………天童睦子 5

戦後日本社会における女性たち「もうひとつの」個人主義

—宮城学院同窓生の生活史の分析から— ……………片瀬 一男 37

相澤 出

遠藤 恵子

シンポジウム2

シンポジウム「声を聴く 声をしるす 二十一世紀教養教育考」開催報告 はしがき

……………間瀬 幸江 61

「虫」に聴く—開催挨拶に代えて……………田中 一裕 65

「聴くこと」の破壊力—シンポジウム開催主旨説明……………間瀬 幸江 69

記録を読む、声を聴く—菅江真澄日誌を題材にして……………菊池 勇夫 75

「ことばの教師」に聴く

— コミュニティにおける変容、継続性と価値の継承 — …………… 今 中 舞衣子

子どもの声を聴き、声に向き合う

— 災害後の支援者が直面した「ゆらぎ」と省察 — …………… 安 部 芳 絵

シンポジウムを終えて …………… 菊 池 勇 夫

研究所彙報 …………… i
vi